# 三、本町並びに付近を通過した台風

1、台風年次別調

	_		明治	年来
元	宝九、	五七、	四八	月
	<b>=</b>	<b>=</b>		日襲
壸	薑	量	訔	最低気
<del>-</del>	ì	ベ	$\vec{\prec}_m$	هيسو
"	北	南	東南	風
		東	東	向
				(砂)
九二	-	=	-E	光速
=		=	=	雨(
	NA NA	六八	<u> </u>	量
				名
				称記
-				
"	県南	室戸	土佐	上
	岸	岬	湾	陸 地
***************************************				
				通過
				陸海
				上
"	東	北北	北	進事行
		西	上	方向
				-
の台	ず、	に名	日本	備
風	何月	を	では	
また	何日	つけ	台風	考
				,

七四八八

南北東東

西北北北北北北西西東西

	<b>Parketonistinistinis</b>												,			E-1044			
	三0、九、1七	110、八宝	九、八、七	一七、九、三	七、八三	一六八宝	三、九、五	三、九、二	111, d ,01	か、か、三	へ、れ <b>、</b> 三0	杰、九 <b>、</b> 三〇	門、八二五	巴 六 五	三、 七、 五	昭和一、た、三	一門、八二	1 <b>1.</b> 10, <	三、九、元
	11/11/11	七咒 <b>、</b> 三	大公司	習べ	是是	三九、九	<b>小圆</b> 山	三八	妄、九	i,014	四八0	七四三十	芸、た	运汽,九	長八五	七四九、四	古三八、九	古門、三	五八五
	"	南南東	北北西	南南東	南東	東南東	東北東	"	南南東	南東	南南東	西北西	"	東南東	西北西	南東	西南西	東	北西
	元三	= 7	一六八	天七	=	₹ <u>八</u>	70	=	七、六	<b>景</b> 、七	カンマ	10、九	一四、八	三	=======================================	三	۸ ۲ ۲	1 2	三 三 三
	量	九五、ア	壹九九	壹九	咒七	는 전	九 〇	兄:	1	五0、五	<b>三</b> 、元	一大大	E3	=	1	=	型七	<b></b> 五	二九、四
	九州	土佐湾		"	"	上佐湾	県南海岸	土佐湾	•	室戸岬	"	室戸岬付近	土佐湾			県南海岸		県南海岸	
	北部戸内海		紀伊水道							***************************************					紀伊水道		紀伊水道		"
五	北東	"11	北	"	"	北東	"	北	県北。東進	北東	"	東	北東	県北。東進	消滅	東	北	東	"
			ールに当る。	三一六ミリバ	 	あるから、一	ミリバールで	は101三1	圧(七六〇粍)	なった。一気	で表すことに	らミリバール	月二十九日か	二十七年十一	るため、昭和	わかり易くす	気圧の状況を	していたが、	気圧は粍で表
					**********														

中,四		五九	一四十	<u>=</u>	五	一世	天三	10、六	五,0	7,0	25	四七	六五	五五	75.	7.0	, A.	
	<u> </u>	四八、三	会	一次四、三	灵灵	121.0	二九二	一五八六		野三 <b>、</b> 四	豐O、九	园、六	是是	1:1,0	兲 <u></u>	四七、五	0, ld:	空三
	土佐湾	"	室戸岬	11	県南海岸	土佐湾	室戸岬		"	土佐湾	室戸岬	土佐湾		県南海岸	土佐湾		室戸岬	県南岸
紀伊水道					•		12 % 40.00	紀伊水道						***************************************		紀伊水道		
北	"	北東	北西	"	"	北東	"	"	"	北	"	北東	<b>県北。東進</b>	"	北東	#L	北東	東
なった。また	称えるように	台風第何号と	改めて何年の	からこれを	昭和二十八年	た。ところが	名をつけてい	球には男性の	性の名を南半	北半球には女	方を用いて、	リカ式の呼び	一年からアメ	が、昭和二十	名づけていた	台風などと	ものだけ室戸	は特に大きな
																		-

門 1,10

 南東北 // 南東北 南南東南東東東 西 東東東

74

六

元、元言	元九二	元、九、三	元 九 九	元 元 元	六、芸量	き、た言	吴、10、三	三、九、三	宝れ、三	•	园、 六 三	三二元	=-, + <u>,</u> =0	
九八五、0	九九〇、三	九八五、四	10091	九七七二	きりごール	四三五	三三六	1,0萬中	中中一	長ご	记号、九	运气,		
南東	北西	"	"	南東	北西	北	"	南東	北北西	南東	南	西	南東	Ī
10/1	二六宝	=======================================	六至	110711	三	八四	三元	园	完三		言	云三	三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三	-
一 売 九	九0、五	<u>全</u>	台六	七六、七	三 三 三 三	29	三 元	<b>汽</b>	三三三	完完	二五七	100元	一五七	E
五号	一四号	一二号	一三号	五. 号	一三号	ダイナ	ルース	キジア	ジエーン	<b>デュデイス</b>	デラ	アグネス		
鹿児島		"	"	九州			九州	九州縱断	県東部	九州西海岸	力. 州	***************************************		J.
日九州中間	室戸沖	<i>"</i>	九州縱断	播四路里中部	"	土日佐才沖流	ζ.			対島海峡	西部戸内海	土佐沖	豊後水道	上海 ドア 洋
北北東	北東	"	"	北北東	"	北 ( ) 東 東	ŀ.	"	北東	北山東陰沖。	北東東	東	北	は
	***************************************	***************************************	3:											

七回で、約一年一カ月余に一回の割合となっている。 以上の如く、明治二十四年から、昭和二十九年まで、 六十四年間に本町及び付近を通過した台風の回数は五十

一三二、七粍の雨を降らしている。 (であるから、百粍(一坪に一石八斗二升) 降ると、洪水が出ることになる。)・は昭和二十年十月十日の四七八・六粍、五十七回のもたらした全雨量は、七一六五・四粍で、一回の台風は平均 風速の最大は昭和十六年八月十五日の三七・八米で、五十七回の平均風速は一六・九米である。また最大雨量

## **第九章** 災

について記する。 昭和初年以後に於ける災害の内、風水害と火災については、 前に記述してあるので、 ここでは震災と雹・雷害

### 節震

### હ

### 一、南海大地震

田が海と変った所もあって、相当の罹災者ができたので、町民の内には救援物資を送った者もあった。 水道の南部にあったため、県南の沿岸地方には、津浪におそわれたり、 地盤が約三十 m も沈下して、 東西三、六m、南北二、七m、上下動相当大きかったが震幅不明、徳島測候所観測)があり。震源地は、紀伊 昭和二十一年十二月二十一日、 午前四時十九分から三十五分六秒間、四国・近畿地方の一帶に、大地震(震幅 田畑や塩

本町に於ても、多くの人家その他の建物に相当の被害(庇の落下・家屋の傾斜・壁の裂傷等)があった。

## 一、昭和二十二年以後の地震

かった。次にその年次別調をかかげる。 余)の多きに及び、その内二十三年と二十七年には、 昭和二十二年一月から、三十年五月まで、本町及び県下に起った有感地震の回数は、二三九回(年平均二八回 各一回の中震があったが、被害を生ずる程度のものではな

本町及び県下の有感地震調 (徳島測候所観測)

### 最 大 地 震 最大振幅単位ミクロン 程度 月日 震源地 4,500 本 県 和食付近 90 1.16 弱震 19,000 潮岬沖 44 4.18 中震 27 3,000 1.20 軽震 18 11.6 弱震 17,500 田辺湾 18 3.11 軽震 480

### 調査別回数 23 24 25 26 10 22,800 吉野地震 27 7.18 中震 28 19 5.30 軽震 450

風と雷雨を伴った大降雹(大なるものは鶏卵大の扁平形)があった。 との時町小学校舎その他家屋の風に面した窓硝子の下部は、 昭和八年六月十四日午後八時四十五分から十五分間、 (自昭和22.1) 至 // 30.5) 第二 第三節 年別 昭和 22 節 雹 3.22 軽震 29 6 100 阿波郡を中心として、 30 7 540本県南部 5.18 軽震 239 計 殆ど破壊せられ農作物も甚大な損害を被っ 麻植・板野両郡の一部に北西の突

損傷したことがあったが、その後に於ても昭和八年頃、鴻の巣の大松が、落雷のために大裂傷を生じ、同本町では数年間に一・二回の雷害を受けている。即ち昭和以前にも落雷のために、人家が焼失したり、

同十四年

た。

頃香美の或農家が雷火のためまさに大事に至らんとしたこと等があった。